

動き出す、あなたの想いをお結びする市民活動情報誌

おむすび たかしま



42

2019
SPRING

たかしまの

森へ行こう!

～森と人がつながるプロジェクト～

たかしま・未来・円卓会議

たかしまの森へ行こう!

～森と人がつながるプロジェクト～

炭焼き窯復活への思い、
炭焼きしていた頃の暮らしについて
朽木雲洞谷集会所

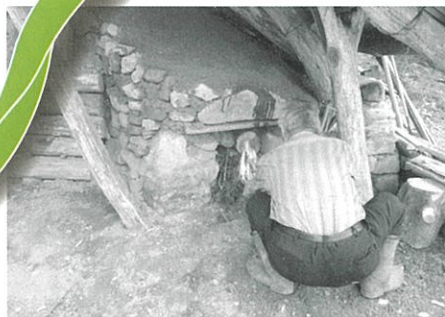
3月9日

朽木雲洞谷の 炭焼き窯復活物語

豊かな森林資源がある高島市。かつて山間部では森林とともに暮らし、里山から田畑の肥料や家畜の飼料をいただき、炭の原料やほだ木を得るなど、森林を活用しながら保全することで、豊かな水源の森が守られてきました。「たかしまの森へ行こう！プロジェクト」では、そんな森と人との関係について学び、私たちはどんな森林とのかかわりができるかを考えたいと、森林にかかわる市民活動団体や観光事業者、木材業者などがつながり、持続可能な森林資源活用の仕組みづくりを目指して活動しています。

今回の勉強会は、昨年5月、炭焼きの技術が失われる危機感から炭窯を復活させた朽木雲洞谷の(雲)くらぶ(まるくもくらぶ)を訪ね、炭窯を復活された経緯や炭焼きをされていた頃の暮らしについてお話を聞き、私たちができることを考えたいと思います。朽木では近年、台風や積雪で道路沿いの杉が倒れ、道路の寸断や停電が起きています。そのたびに、半世紀前には身近にあった広葉樹の里山を取り戻したいという声も聞こえてきます。朽木だけでなく、高島の森林についても考える機会になればと思っています。

森林に関心のある方、炭に関心をお持ちの方、自然と共生した暮らしや持続可能な暮らしに関心のある方など、ご参加お待ちしております！



完成した炭窯に初めて火を入れました。



たかしまの森へ

検索



「子どもの力を信じて

“心の根っこ”を育む

代表の山本さんは、兵庫で育った子ども時代にマキノの祖父を訪問すること、琵琶湖や自然にめいっぱい触れて過ごしました。聞くところでは近所に駄菓子屋も並び、学校帰りの子どもたちが集まっていたそうです。家族でマキノに移住し子育てをするなかで、自分や地域の子とも達にも身近な場所に、子どものたまり場やいつでも友達と遊べる場があつてほしいと思い、母親仲間を声をかけ、子どもが主役になつて集える場「マキノらぼ」をつくられました。

活動を始め、子ども同士の関わり合いを見守るうち、山本さんは、我が子の心の未熟さを痛感します。「認められている安心感」「自分の全部を大事に思える心」そういった「心の根っこ」を一对一で向き合つて育てたいと考えました。子どもたちそれぞれが持つ良さや課題を親同士で共有し、地域ぐるみで安心して子どもを育てていける場にしたいと話されます。

現在「マキノらぼ」では、つながつたお母さんたちのニーズに応え、近所の外国人の方と英会話で楽しく遊ぶ会を少しずつ開いています。今後は元小学校の先生と、放課後に子どもたちが宿題をしたり友達と過ごせることも考えているそうです。



マキノらぼ

代表 山本 静
設立 平成30年7月
会員数 10名
連絡先 高島市マキノ町海津2261
TEL 0740-20-5625

いろいろやっています たかしま

このコーナーでは、高島市で活躍する市民活動団体を紹介しています。

「守りたい、地域のシンボルと

寄り合える場所」

睦美会は、朽木市場にある丸八百貨店でカフェを運営する地元女性グループです。昭和8年に建てられ、地域の賑わいのシンボルとして親しまれてきた丸八百貨店が閉館状態にあった平成16年、高島市商工会が指定管理を受け、睦美会が運営することになりました。

もともと地元女性の親睦を目的に年1回旅行などをしてきた睦美会。カフェの運営は誰もが初めてのことでした。「最初は会計も知らなくて大変だった。どう工夫したらお客さんが増えるかとワクワクしながら、仲間と相談し、時にはケンカもして楽しんでやってきたよ」と代表の山本さん。イベントで鯖料理など朽木の惣菜を10人分出したこともあったそうです。

運営を始めて14年。団結して続けてきたメンバーの多くは70代80代に。無理のない運営のためにメニューも見直しました。ここは、誰かがいる暮らしの安心にもなっている場所。遠くは針畑から、買い物ついでに立ち寄り、話をして行かれます。「若い人が手伝ってくれるようになったけど、中心になり運営する人が必要。工夫しながら継続できる形で守っていききたい」と話されました。



睦美会

代表 山本 悦子
設立 平成16年12月
会員数 12名
連絡先 高島市朽木市場383
TEL 0740-38-3711

高島の元気企業

このコーナーでは、地域に根差した活動や社会貢献活動をしている高島市の企業を紹介しています。

お客様の声をヒントに、ここにしかないものが見つかる場所を作りたい

パン&ケーキカフェ Famille (ふぁみーゆ) 村田 静香さん

お祖父さんの惣糸工場跡で、5年前にこだわりのパンとケーキのカフェを開いた村田静香さん。専門学校で菓子作りを学び、パティシエとして数年働いた後、弟さんの食物アレルギーをきっかけに国産素材にこだわり、体にやさしいパンや菓子作りをしていたお母さんと一緒にお店をオープンされました。お客様の声に応えながら、卵や乳製品を使わないケーキのレシピを研究し、体にやさしい商品づくりをしておられます。パンと焼き菓子は卵や乳製品不使用。乳製品の代わりにナッツやお豆腐、ココナッツオイルを使うそうです。住宅地から離れた立地ですが、ママ友などの口コミで広がっていききました。村田さんは「アレルギーのある方がケーキやパンを初めて食べて、おいしかったと言ってもらえたこと」が喜びになっているそうです。今後も「お客様の声にヒントをもらって、ニーズに合った商品を作りたい。卵や乳製品を使わなくてもおいしいものを作りたい」と話してくれました。

昨年12月には、お店の前の工場跡に入っている「こだわり」を大切にした4店とともに「百鈴(ひやくすず)」をスタート。手作り、自然や体にいいもの、他にはない魅力など、ここにしかない、あなたのために入ったものが見つかる場所をめざしています。市内のハンドメイド作者の発表の場「Space9(スペースキュー)」も同じ場所で毎月19日に開催。それぞれのこだわりが楽しい約10点が出店。その日限定、毎月変わるゲストキッチンも楽しみで、女性やハンドメイドが好きな方々の交流の場として賑わっています。



パン&ケーキカフェ Famille (ふぁみーゆ)

〒520-1234 滋賀県高島市安曇川町四津川642

TEL 0740-34-0324

営業 10:00~19:00 (定休日:火・水曜日)

F B <https://www.facebook.com/famille20130418>

たかしま市民協働交流センターでは市民活動に関する、さまざまな相談をお受けしています。ここでは、お寄せいただいた質問や相談とその回答についてご紹介しています。



NPO法人の理事の責任について

Q. まちづくりの活動を仲間と任意団体で続けてきましたが、行政から委託事業を受けることになり、これを機にNPO法人にしたいと考えています。役員の中にはNPO法人の理事になると責任が重くなるのではないかとの声があります。理事にはどんな責任があるのでしょうか。

A. 任意団体では代表者個人が契約の主体になりますが、NPO法人は「法人格」という人格が与えられることによって、法人そのものが契約の主体になることができます。

NPO法人の理事は、法人を代表し、定款や社員総会の決議に従って法人の事務を執行するために、社員(会員)から委任を受けています。理事の責任は、1. 受任者として「善良な管理者の注意」義務を負って経営を行う義務がありますが、その注意を怠って法人に損害を与えた場合、賠償責任を負うこととなります。善良な管理者の注意とは、社会通念上期待されている程度の注意義務が要求されます。2. 定款に書かれていない事業を理事が行い他人に損害を与えた場合、その行為をすることに賛成し、または行った理事が損害賠償責任を負うこととなります。3. もしもNPO法人が破産した場合、理事個人がその債務を負う責任はありません。破産した時に債務がある場合は、法人の資産を現金化し債権者に返済しますが、不足する場合は債権者が諦めることとなります。ただし破産において、理事が何らかの違法行為により法人に損害を与えていた場合は、その理事に損害賠償を請求することがあります。継続的で信頼性の高い活動のために、理事の責任についてご理解のうえ、就任されることが大事ですね。

◎市民活動についての疑問、相談などお寄せください!

INFORMATION

イベントのお知らせ

◆第8回 しんあさひ風車村さくら祭り

新旭町風車村前の湖周道路6kmの間に、地域のボランティア活動で育てた654本の桜並木があります。満開の桜を楽しんでいただけるこの催しを通じ、自然豊かな魅力あふれる高島市から、笑顔と元気を発信します！

開催日時：4月7日(日)10時～15時 ※雨天中止
場所：道の駅「しんあさひ風車村」
内容：約30店の手作りマルシェ、ステージ発表ほか
募集：ステージ発表出演者3グループ
※出演者申し込みは3月15日締切り。詳細は下記へ。

お問い合わせ先 さくら祭り実行委員会
TEL：0740-25-0708

市民活動情報募集

◆市民活動・ボランティア活動情報をお寄せください！

2019年度の情報誌 おむすび・たかしまでは、高島市内の市民活動団体のイベント、ボランティアグループなどのメンバー募集、助成金の情報などを掲載予定です。発行月の1ヶ月前に、たかしま市民協働交流センターへ情報をお寄せください。

発行予定 43号(7月1日)、44号(10月1日)、
45号(1月1日)、46号(4月1日)
発行部数 約1,800部
配布先 市内全戸、公共施設、金融機関、協力店舗、
市外市民活動支援センターなど

お問い合わせ先 たかしま市民協働交流センター

美化活動はなのみち メンバー募集

美化活動 はなのみち

この町を訪れる人も、この町に住んでいる人も。心なごやかに歩ける花のまちづくりをしています。10年先、子どもや孫たちにも続く花のまちづくりのために、いっしょに花づくりを楽しむ仲間を募集しています！

- ❖ 近江今津駅から今津港への道に、季節の花を植えて世話をしています。
- ❖ 月曜の朝9時から10時までを作業日にしています。
- ❖ 仲間と一緒に楽しく作業しています。
- ❖ 花の苗づくり、夏の水やり、花がらの摘み取りなどは、いつでもできる時間にしています。

3月18日より春の活動を始める予定です。天候による変更もありますので、下記へお尋ねください。

美化活動はなのみち 澤田 清 0740-22-1015
木下 納 0740-22-4140

編集後記

取材を通して触れる、活動する方の想いやお人柄はどんなに、ご本人そして仲間と試行錯誤してこられたエピソードには胸の熱くなる思いでした。私たちが暮らすまちの営みは、人と人、そして様々な活動に支えられていること。気づきの一歩は視野を変え、動くの一歩は知ること。改めて感じる機会でした。(N)

退職のご挨拶

◆今津東コミュニティセンター

事務職員 村尾 史子

この度、出産・育児に伴い退職することとなりました。アルバイトとして今津東コミュニティセンターでお世話になり五年半、私自身も様々な団体に関わる中で、このセンターに来られる皆さまにはとても良い刺激をいただきました。これからも高島市内におりますので、見かけました際には気軽に声をかけてください。

◆たかしま市民協働交流センター

事務職員 長澤 由香里

前回の通信でご挨拶をさせていただいたばかりですが、この度、一身上の事情で退職することとなりました。とても短い期間でしたが、たかしま市民活動フェスタの開催を始め、仕事を通じてお世話になりました皆さまにあたたかく接していただき、勝手ながら、ここでのお世話になりましたご縁は感謝の限りです。本当にありがとうございました。

発行：たかしま市民協働交流センター

〒520-1622 滋賀県高島市今津町中沼1-4-1
(今津東コミュニティセンター内)

TEL：0740-20-5758 FAX：0740-20-5757
E-mail：webmaster@tkkc.takashima-shiga.jp
業務時間：月～金曜日(祝日を除く)9～17時



ホームページ

<メルマガ会員募集！市民活動情報をお届けします>

広告欄

※広告(横10cm×縦4.5cm)を募集しています。お問い合わせは上記までお願いします。

ホトラ舎

ホトラ舎は障がいのある人のための就労の場(就労継続支援B型事業所)です。安曇川町で野菜づくりや農家さんのお手伝い等を行っています。

障がいのある人のグループホーム

やまえみ

2019年4月開所予定
現在、指定申請手続き中

世話人さん募集

食事の準備や夜勤をしてくださる、世話人さん募集中
【日給13,000円〜】

入居者さん募集

入居希望の方はお気軽にご相談ください。残2室です。

農作業のお手伝いおまかせください

単純で手間のかかる作業、草引きや選別、皮むきなど安心価格で承ります。

そうだ、木を見に行こう。

岡本木材株式会社

〒520-1233 高島市安曇川町南船木913-1
TEL (0740)34-0068 FAX (0740)34-0578